

平成 29 年度山形県立博物館プライム企画展

# 第 1 回 記念講演会

日時 平成 29 年 9 月 23 日 (土) 13 時半～15 時半

場所 山形県立博物館 講堂

演題 江戸時代の雅楽と皇室祭祀

皇室の儀式楽として千年以上受け継がれてきた雅楽とは何か、先祖代々宮廷雅楽を支えてきた京都方楽人・安倍家 29 代の講師が語る貴重な機会です。初心者でもわかる雅楽器の紹介をはじめ、江戸時代の雅楽と安倍家、尾花沢雅楽と安倍家のつながり、宮中の祭祀や賢所の話など、実演や映像を交えての講話です。

ユネスコの無形文化遺産に指定されている宮内庁の雅楽は、来年度以降の皇室の慶事や天皇の退位・即位にまつわる儀式、さらには東京オリンピック開催に向けて注目を集めつつあります。

講師 <sup>あ</sup> <sup>べ</sup> <sup>すえ</sup> <sup>まさ</sup>  
**安倍季昌氏** (元宮内庁式部職楽部楽長)

申込 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 10 時より  
当館ホームページにて参加者募集開始

(定員：申込順 50 名)

講師プロフィール



明治神宮にて「蘇資摩利」を舞う (昭和 60 年前後)

安倍季昌 (あべ・すえまさ)

昭和 18 年 (1943)、千年続く京都方楽家に生まれる。昭和 31 年 (1956) に宮内庁式部職楽部に入部。父の安倍季巖 (すえよし) ら諸先生に師事。家芸の箏篳をはじめ、右舞、箏、歌謡、打物などを伝授され、昭和 40 年 (1965) に楽師となる。宮中の行事、楽部の公演のほか、ヨーロッパ、アメリカ、中国での海外演奏も行う。また、安倍蘆聲会を主宰し、多くの後進を育てている。

伊勢神宮式年遷宮 (61 回) では、人長で秘曲を舞う。昭和天皇の御大喪の礼、今上帝の即位の礼、御大礼、大嘗祭、祝宴に奉仕する。

著書に『雅楽がわかる本』(たちばな出版)、『絵で楽しむ楽家録』(書肆フローラ)、『雅楽箏篳千年の秘伝』(たちばな出版) などがある。